

習得～探究における「深い学び」に向けたカリキュラム編成



大田区立調布大塚小学校長 玉野 麻衣

- 1 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指すカリキュラムデザイン
- 2 「習得」と「探究」による授業デザイン
- 3 授業デザインの浸透に向けて
- 4 実践事例

# 1 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指すカリキュラム

## 教科等横断的な視点に立った資質・能力

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力

学習の基盤となる資質・能力

4つの課題を設定 「地域・環境」「キャリア」「福祉・健康」「国際理解」

地域には、児童が地域の一員として楽しく参加できる多彩な仕組が整っているが、提供された仕組の中で役割を果たすだけでなく、児童が自分たちの地域のためにできることを様々な角度から考え、地域と協働し地域に貢献できる行動力が必要ではないか。

### 「地域・環境」で育成を目指す資質・能力

身近な事象を多面的・多角的に捉え、地域への貢献やよりよい環境の創造のために必要なことを考え、行動する力

教科等を横断した連続性・系統性を視覚化したカリキュラムの作成

# 1 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を目指すカリキュラム

第4学年「地域・環境」で育成を目指す資質・能力：**身近な事象を多面的・多角的に捉え、地域への貢献やよりよい環境の創造のために必要なことを考え、行動する力**

4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

地域への貢献、よりよい環境の創造  
「学びに向かう力・人間性等」

必要なことを考える  
「思考力・判断力・表現力」

多面的・多角的に捉える  
「知識・技能」

- 「教科等横断」を視覚化する。
- 学習内容ではなく資質・能力をつなげる。
- 縦軸を教科等ではなく資質・能力にする。

道 伝統と文化の尊重  
国や郷土を愛する態度

日本の伝統や文化を大切にすることを考え、実践しようとしている。

総 誰もが住みやすい社会をつくらう

国語

健康の大切さに気付き、自己の健康保持増進にすすんで取り組もうとしている。

困 育ちゆく体とわたし

誰もが住みやすい社会をつくるために自分たちができていることを考え、社会生活に生かそうとしている。

困 他地域や世界とつながる東京

世界とつながる東京について考え、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養い、生活に生かそうとしている。

外国語

所を考  
ミュニ  
る。

地域の発展に尽くした人々の思いや願いについて考え、社会生活に生かそうとしている。

困 郷土の発展につくす

国 お願いやお礼の手紙を書こう

間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして文や文章を整え、表現している。

国 新聞でニュースを伝える

当時の世の中の問題や人々の願いなどに着目して地域の発展に尽くした先人の働きを考え、表現している。

理科

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えている。

困 もののあたらまり方

金属や水及び空気の性質について追究する中で、金属、水及び空気の蒸の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を着想し、表現している。

社会

道 自然愛護

自然や動植物を大切にすることを考え、表現している。

困 涼しくなると

身近な動物や植物の季節ごとの動物の動きや植物の成長の変わりについて、根拠のある予想や仮説を着想し、表現している。

総合的な学習の時間

算数

生活体験を基に、自然界での水の姿について理解している。

理 自然の中の水

社会

話し合い活動から、自然に親しみ、自然を大切にする方法を多面的・多角的に捉えることができる。

困 暮らしを支える水

地域の人の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。

困 暑い季節

観察や生活体験を基に考え、植物の成長や動物の活動は季節によって違っていることを理解している。

道 自然愛護

話し合い活動から、自然に親しみ、自然を大切にする方法を多面的・多角的に捉えることができる。

国語

がら開き、話して伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもつことができる。

困 空気と水

自己や他者の実験を基に、実験方法や実験結果を比べながら、空気、水の性質について理解している。

困 消防署の仕事と人々の協力

消防署や地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解している。

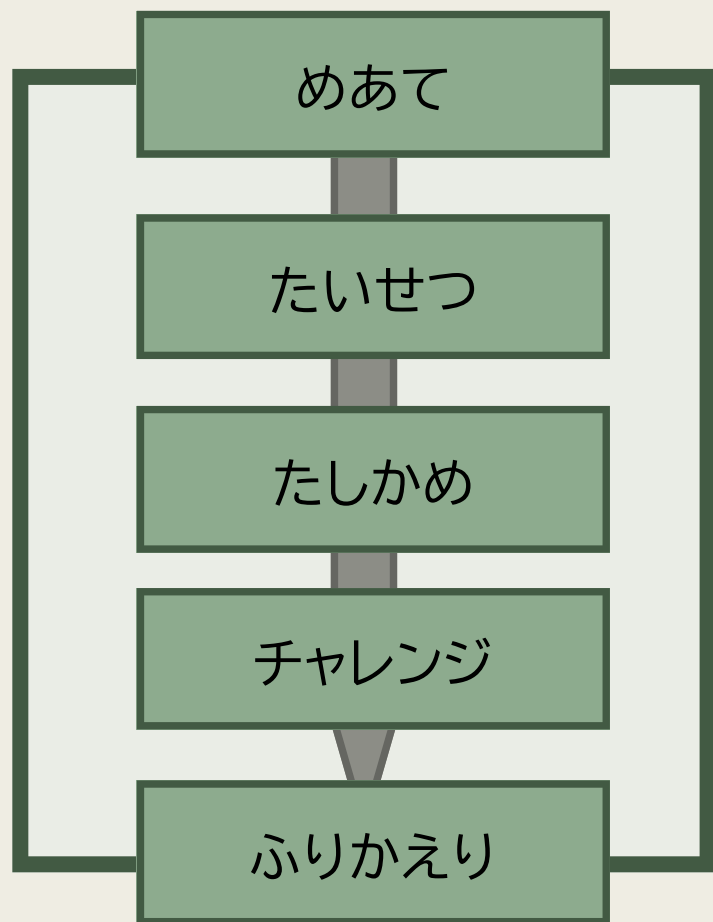
困 暖かくなって

観察や生活体験を基に考え、植物の成長や動物の活動は季節によって違っていることを理解している。

総 誰もが住みやすい社会をつくらう

## 2 「習得」と「探究」による授業デザイン

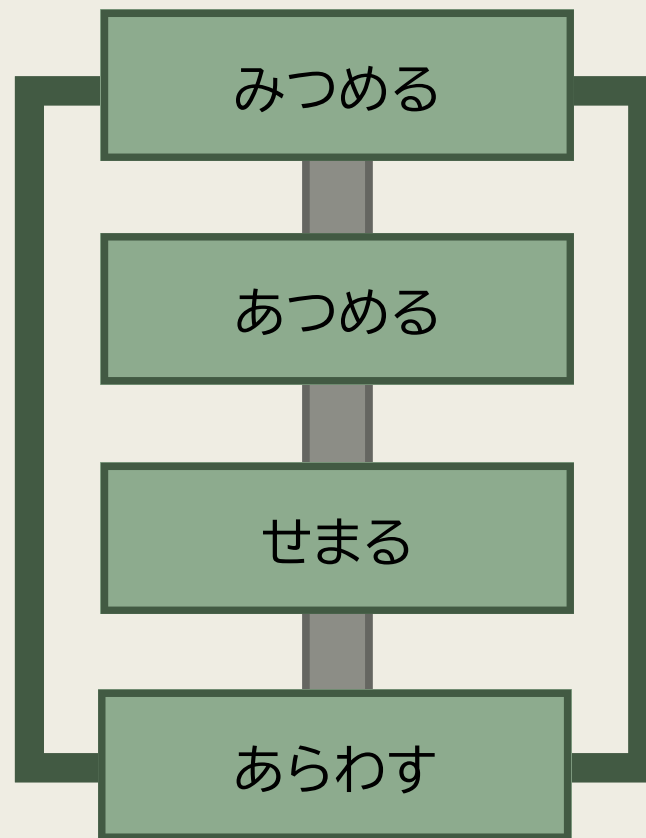
深い意味理解を伴う「習得」  
学習方略の習得



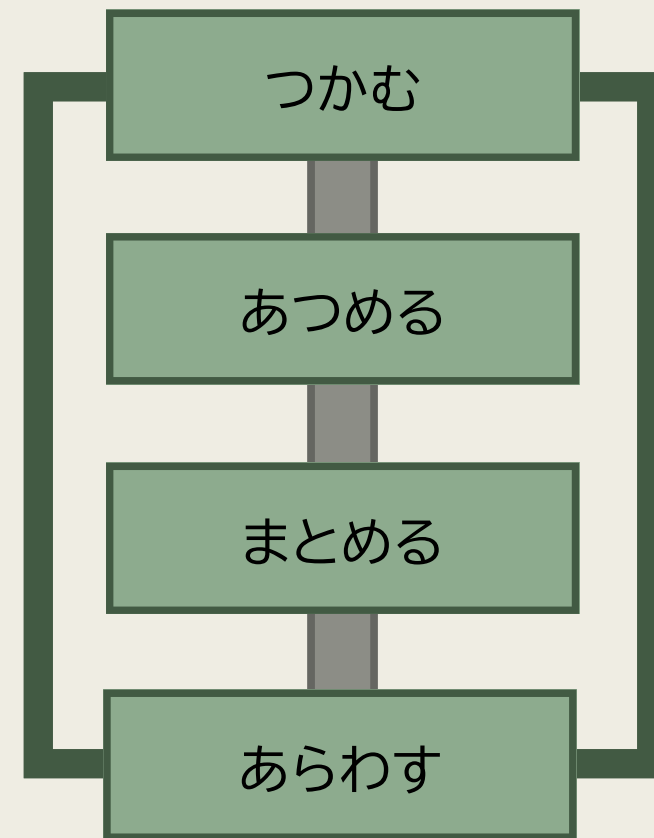
「教えて考えさせる  
授業(OKJ)」

探究的な学習

(奥沢小)



(調布大塚小)



一単元(題材)に「習得」と「探究的な学習」を位置付ける。

## 2 「習得」と「探究」による授業デザイン

深い意味理解を伴う「習得」  
学習方略の習得

「教えて考えさせる授業(OKJ)」

めあて

「何ができるようになるか」を児童と共有

たいせつ

教師の説明

本時で教えるべき学習内容の精査  
教材研究・児童理解

たしかめ

理解確認

ペアで説明して「たいせつ」の理解度を確認

チャレンジ

理解深化

協働的問題解決、「ミニ探究」

ふりかえり

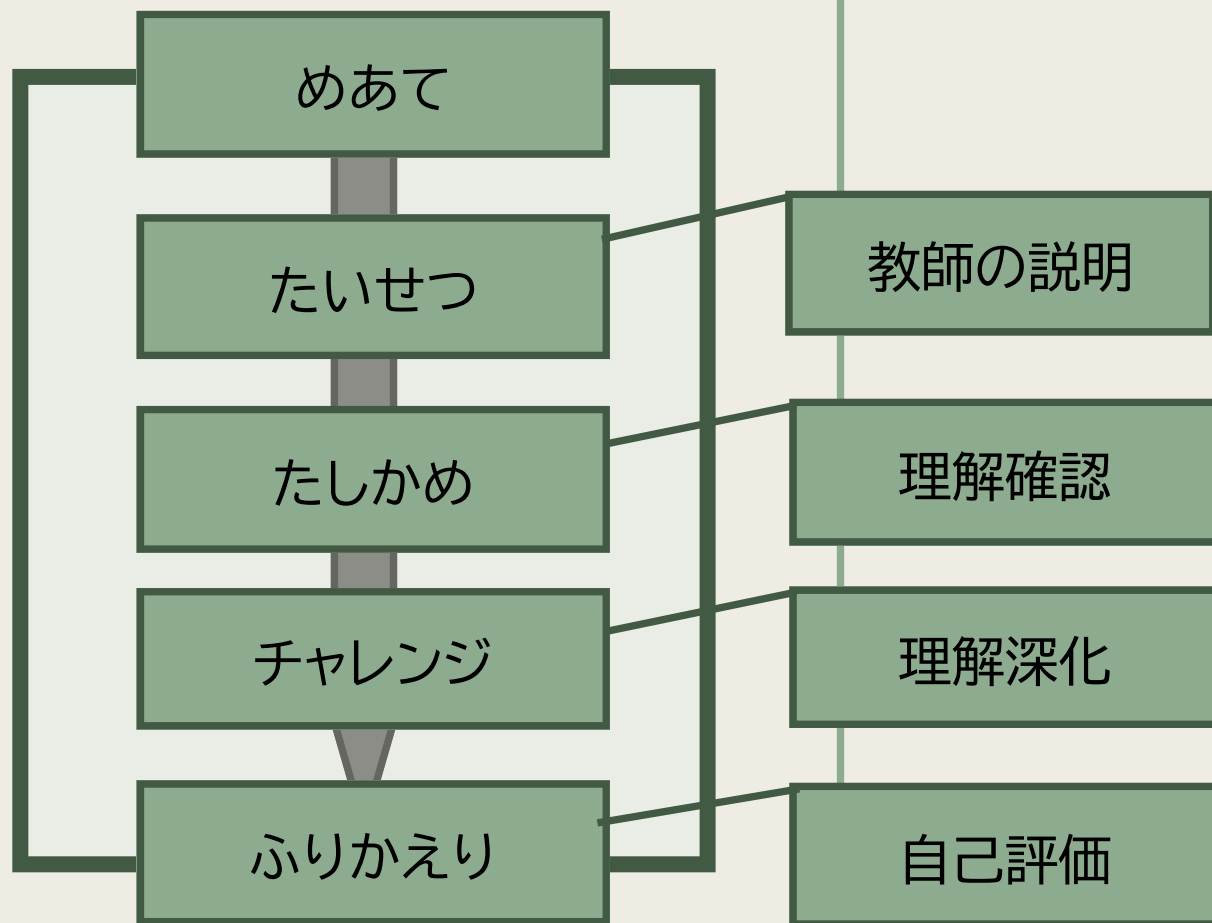
自己評価

めあてが達成できたか・質の高い振り返り  
毎時間の「もっと知りたいこと」から「探究」へ

## 2 「習得」と「探究」による授業デザイン

深い意味理解を伴う「習得」  
学習方略の習得

「教えて考えさせる授業(OKJ)」



学習方略

認知的方略

失敗活用方略

メタ認知方略

外的リソース方略

## 2 「習得」と「探究」による授業デザイン

### OKJ(「教えて考えさせる授業」)構想シート

令和3年 月 日( ) 校時 学年 組 授業者

◇教科等・単元(題材)名

困難度査定 つまずきポイント	本時で予想するつまずきと指導の工夫・手立て
-------------------	-----------------------

予習	生わかりで授業に臨む;教科書○頁を読んでくる。など
----	---------------------------

教える	めあて	本時のめあて;板書する内容そのまま ○
	たいせつ	板書する内容そのまま ○ 説明する内容・手立てなど ・ ・ ・
考えさせる	理解確認	たしかめ ペアワークでアウトプット;自分で説明してみよう理解度を確かめる(仮想的指示)
	理解深化	チャレンジ グループワークでアウトプット;アイデアを出し合いながら協働解決する
	自己評価	ふりかえり 分かったこと・分らなかったこと、さらに興味をもったことなど(教訓帰納・メタ認知)

復習	ノートを指しながら声に出して説明するなど
----	----------------------

※ 自己評価「さらに興味をもったこと・調べてみたいこと」を積み重ねることで、単元内での探究的な学習につなげることができる。

困難度査定

予習

復習

- 全教科等でのOKJ
  - ・得意な教科等から取り組む
  - ・深めたい教科等に取り組む
  - ・授業後は一緒に振り返る
  - ・OJTで相互研鑽する
- 各学習段階での意図を理解する
- 困難度査定
  - ・つまずきポイントからの児童理解と指導の工夫
- 「予習ー授業ー復習」サイクルの定着
- 学習方略の習得を指導の視点に
- その時間に必要な見方・考え方を考える



### 3 授業デザインの浸透に向けて

#### 4月 学校経営計画で提示する

##### どのように学ぶか

- 学習習慣定着のために「予習—授業—復習」サイクルで学ぶ。  
・「生分かり」状態で授業に臨むための予習 ・理解度確認のための復習
- バランスがとれたインプットとアウトプットで学ぶ。
- 教科等横断的に資質・能力を関わらせながら学ぶ。
- 多様な他者との関わりを通して学ぶ。  
・ねらいを達成するためのペアやグループディスカッション  
・異学年交流、異校種交流の充実 ・地域連携の充実
- 学習用タブレットを効果的に活用しながら学ぶ。

大田区立調布大塚小学校 令和3年度学校経営計画

おおた教育ビジョン～豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる～

##### どのように学ぶか

- 学習習慣定着のために「予習—授業—復習」サイクルで学ぶ。  
・「生分かり」状態で授業に臨むための予習  
・理解度確認のための復習
- バランスがとれたインプットとアウトプットで学ぶ。
- 教科等横断的に資質・能力を関わらせながら学ぶ。
- 多様な他者との関わりを通して学ぶ。  
・ねらいを達成するためのペアやグループディスカッション  
・異学年交流、異校種交流の充実  
・地域連携の充実
- 学習用タブレットを効果的に活用しながら学ぶ。

##### 何を学ぶか

- 教科等の特性に応じた見方・考え方をすること。
- 多様な他者と協働することで自分の考えを深めたり広げたりすること。
- 学び方を学ぶこと。  
・手続きではなく知識を関連付ける  
・間違いを生かしながら学ぶ(失敗活用)  
自分の理解状態をみつめる(メタ認知)
- 学習内容を教科等横断的に捉え、学習や生活で活用すること。
- 想像力を高め多様性を尊重し認め合えること。
- 自分の意図を実現するために必要な活動を論理的に考えること。
- 規範意識を高めて行動すること。

#### 5月～ 各種会議で説明する

- ・月1回の企画運営会議
- ・週1回の夕会

##### 何を学ぶか

- 教科等の特性に応じた見方・考え方をすること。
- 多様な他者と協働することで自分の考えを深めたり広げたりすること。
- 学び方を学ぶこと。  
・手続きではなく知識を関連付ける ・間違いを生かしながら学ぶ(失敗活用)  
・自分の理解状態をみつめる(メタ認知)
- 学習内容を教科等横断的に捉え、学習や生活で活用すること。
- 想像力を高め多様性を尊重し認め合えること。
- 自分の意図を実現するために必要な活動を論理的に考えること。
- 規範意識を高めて行動すること。
- 地域や社会のために自分ができることを考え行動すること。

#### 9月～ 授業観察

若手教員年次研究授業

# 3 授業デザインの浸透に向けて

5月

令和3年5月17日  
運営委員会 玉野

## 1 認知カウンセリングからみた学習上のつまずきと学習方略・学習観

<p><b>学習上のつまずきの例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・覚えられない、すぐ忘れる</li> <li>・時間をかけて勉強しているが成果がみられない</li> <li>・授業では分かったと思う。でも分からなくなる</li> <li>・授業は難しくついていけない</li> <li>・何が分からないのかも分からない</li> </ul>	<p><b>なぜつまずくのか</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 知識(技能)の問題</li> <li>2 学習方略(勉強方法)の問題</li> <li>3 学習観(勉強に対する考え方)の問題</li> </ol>
<p><b>学習方略</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知的方略:意味を理解しているか</li> <li>2 メタ認知的方略:弱点を把握しているか</li> <li>3 失敗活用方略:間違えをそのままにしないか</li> <li>4 外的リソース方略:外側のものを活用しているか</li> </ol>	<p><b>学習観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意味理解志向 ↔ 丸暗記志向</li> <li>・思考過程重視志向 ↔ 結果重視志向</li> <li>・方略志向 ↔ 練習量志向</li> <li>・失敗活用志向 ↔ 環境依存志向 (植阪・尾瀬・市川,2006より)</li> </ul>

## 2 自立した学習者を育てるための学習サイクル

**予習—授業—復習サイクル**

- ・予習:分からないところをはっきりさせて授業に臨む。
- ・授業:ポイントを絞って授業を受ける。分かったかどうか表現して確認する。
- ・復習:ポイントを言語化する。理解した状態で演習問題に取り組む。間違えた理由を分析する。

**予習の考え方**

- 教科書や副教材を読んでも深い理解を伴うわけではない。
  - ・未習部分の教科書や副教材を読んだり眺めたり、挿絵や図・表を見たりする。
- 意味理解志向になるために、「丸暗記」させるような課題は出さない。
  - ・「暗記」すること自体が目的にならないようにする。
  - ・意味を知る、意味が分かって「使ってみる」、「試してみる」で定着する。
- 思考過程重視志向になるために、「○が多い方に価値がある」と思わせるような課題は出さない。
  - ・答えが合っていることではなく、答えを導き出す過程や自分の考え方が分かっていることが重要
- 方略志向になるために、「量をこなすことが大切」と思わせるような課題は出さない。
  - ・意味のある「繰り返し」にする。
  - ・繰り返し書くことが目的ではなく、「書き順に気を付ける」とめ・はらいに気を付ける」など、繰り返し書く理由が分かって取り組めるようにする。
- 失敗活用志向になるために、「分からないといけない」と思わせるような課題は出さない。
  - ・「分からないところ」があることが大切と思えるようにする。

家庭環境、学習環境に左右されない課題の工夫;教科書、副教材を最大限に活用する学習を

6月

## 5 長期休業中に

- (1)教員室の・整理(要・不要に分けて不要なものはすべて捨てる)
  - ・整頓(必要なものをいつでも誰でも取り出せるように順序だてて配置する)
- (2)計画的な休暇取得
- (3)宿題・登校日での取組を「学習観」を育てる一助にする(×丸暗記、結果重視、練習量)
- (4)『教えて考えさせる授業』を創るアドバンス編(市川伸一著)を一人1冊配付予定

## ◇研究会のご案内

・8月10日(火)「2021夏のOKセミナー」(大阪府貝塚市 Zoom によるリモート併用予定)  
<内容>教えて考えさせる授業(OKJ)の実践報告、参加者によるディスカッション 等

7月

## 3 2学期からの授業観察は「教えて考えさせる授業」

- (1)「教えて考えさせる授業(OKJ)構想シート」を作成
- (2)担任授業は国語・社会・算数・理科・道徳
- (3)全員に構想シートを配布、5分でも時間を見付けて相互参観・OJT

## 4 校外で学習することの意義について

- (1)教科書や書籍、資料、インターネットから多くの情報は収集できる。それでもなお、学校教育として校外で体験することの意義について考えること。
- (2)訪問先で子どもたちにメモさせることは、調べれば分かることではなく、実際に体験したかったこと、自分なりに実感したこと。
- (3)そのための事前学習や予習、当日の教師からの発問を大切にすること。

9月

## 2 OKJ理解深化課題(チャレンジ問題)例

- ◇「たいせつ」で理解したことを使えば考えられるひねりの効いた問題
- ・少し難しい問題にチャレンジしよう。
  - ・間違えている〇〇さんに、アドバイスしてあげよう。
  - ・問題をつくって解いてもらおう。
  - ・間違い問題をつくろう。間違いを探して答えよう。
  - ・簡単な計算をコツコツたくさん解こう。
  - ・解き方や考え方で、似ているところを比べてみよう。
  - ・登場人物になりきって、その時の考えや思いを吐露しよう。

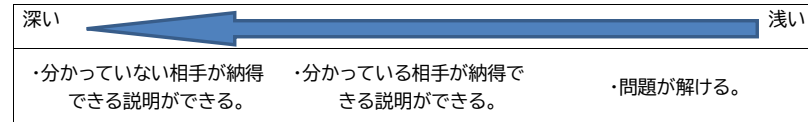
- 学習観
- 学習方略
- 予習—授業—復習サイクル
- インプット—アウトプット
- 見方・考え方を働かせる

12月

## 5 OKJで身に付けられる探究するために必要な学び方(学習方略)

学習段階		学習方略	
予習	自己診断	メタ認知方略	自分の弱点や理解状況を把握しているか
たいせつ	教師の説明		
たしかめ	仮想的教示 理解確認	認知的方略 メタ認知方略	意味を理解しているか 自分の弱点や理解状況を把握しているか
チャレンジ	理解深化	外的リソース方略	他者や図など、自分の外側を活用しているか
ふりかえり	教訓帰納	メタ認知方略	自分の弱点や理解状況を把握しているか
復習		失敗活用方略	失敗・間違いをそのままにしているか

<理解の深さ>



### 3 授業デザインの浸透に向けて

#### 教員対象意識調査(R03.11)



## 4 実践事例1 第5学年道徳「ペットとともに生きる」【D-生命の尊さ】

1/2時間目【習得】ねらい 動物の命をとりまく現状を理解し、人間と動物の共存のあり方を考えることを通して、動物の命を大切にしていこうとする態度を養う。

めあて

- ・写真や映像資料から放置されている犬の現状を知り、愛情をかけて飼うことの大切さを知ること、ねらいとする道徳的価値について方向付けを図るとともに、問題意識を高める。
- ペットは最後まで責任をもち、愛情をかけて飼う。

たいせつ

たしかめ

- ・動物愛護センター職員の思いを考えてワークシートに書き、ペアで説明し合うとともに、説明し合ったことを発表する。

チャレンジ

- ・DVDを視聴し、「もし動物センターの犬を、自分がもらい受けるとしたら。」という場面設定をする。その時、何を大事にして接していくのかについて考え、グループで話し合うとともに、話し合ったことを発表し合う。

ふりかえり

- ・友達の意見を聞いて、自分の考えが深まったことをワークシートに書く。
- ・絵本を読み聞かせる。

## 4 実践事例1 第5学年道徳「ペットとともに生きる」【D-生命の尊さ】

2/2時間目【習得】ねらい 動物の命をとりまく現状を理解し、人間と動物の共存のあり方を考えることを通して、動物の命を大切にしていこうとする態度を養う。

みつめる

- ・ 今まで習得した内容を振り返り、探究課題設定への見通しをもつ。
- ペットとともに生きる上で大切なことは何だろうか。

あつめる

せまる

- ・ 自作資料「被災したペット」を読み、災害時のペットが置かれる状況について理解する。

あらわす

- ・ 動物を大切にすることについて考えを深める。
- 避難所でペットを受け入れるべきか、受け入れないべきか2つの意見から自分の意見に近いものを選び、話し合う。

ふりかえり

- ・ 動物を大切にすることについて自分の考えをまとめる。

## 4 実践事例2 第4学年社会「六郷用水をひらく」

### 「習得」による授業4時間

- 1 家康、次大夫、農民の思いを理解する。
- 2 自然の地形を利用していることを理解する。
- 3 作業の工夫を理解する。
- 4 水が行き渡ることによって収穫量が増えたことを理解する。

### 「探究」による授業5時間

- 1 「六郷用水保存会」による座学＋フィールドワーク
- 3 スライド資料づくりで学習のまとめ

指導計画では10時間扱い  
→「習得」で4時間

一単元を「習得」と「探究」とで構成しても、指導計画の時数を増やすことなく、「探究」の時間を確保できる効率的・効果的な授業デザイン

### 地域行事「田園調布グリーンフェスタ」でのスライド資料による学習成果報告

- ・地域施設「せせらぎ館」をハブとした地域学習パッケージの開発を目指す
- ・授業＋外部人材による座学＋フィールドワーク、デジタル資料の開発

# 4 実践事例3 OKJ型ワークシートによる家庭学習

2年生 算数ワークシート⑤

5月18日(月)

「たし算」 2年 くみ

めあて 2けた+2けたの筆算のしかたについて、かんがえよう。

② 筆算では、数をどこにかくといいのかな？

たいせつ 【教科書26ページを読んで、たいせつなことを書き入れて、たしかめよう。】

$$24 + 15$$

	2	4
+	1	5

左のように、位をたてにそろえて計算するしかたを「**筆算**」といいます。

どうして位をたてにそろえないといけないの？

たし算をするときは、同じなかまどうしたしていいね。

$4 + 5 = 9$        $20 + 10 = 30$   
 1のばら (一の位)      10のかたまり (十の位)  
 $2 + 1 = 3$   
 10のかたまり (十の位)      10のかたまり (十の位)

	2	4
+	1	5

筆算も、同じなかまどうし計算をしやすいように、位をたてにそろえて書くのだよ。

線は、「+」から「一の位」までひくよ。

もし、位をそろえないで書くと... ちがうなかまどうして計算するから、

		2	4
+	1	5	

$2 + 5 = 7$       答えは  
 10のかたまり (十の位)      1のばら (一の位)      ?  
 どちらのなかまかわからないね。

筆算をするときは、位を( )にそろえて数字を書く。

たしかめ 筆算の書き方があっているのは、どれかな。あっているばんごうをこたえよう。

①  $16+3$       ②  $53+41$       ③  $72+27$

①		1	6
		+	3

②		5	3	
		+	4	1

③		7	2	
		+	2	7

答え( )

チャレンジ たしかめのように、よこのしきを筆算で書いてみよう。答えを書ける人は、書いてみよう。

①  $22+15$       ②  $31+62$       ③  $38+21$

①			

②			

③			

④  $64+25$       ⑤  $37+40$       ⑥  $50+25$

④			

⑤			

⑥			

じょうぎでせんをひこう

ふりかえり 今日の学しゅうで、わかったこと、わからなかったこと、もっと知りたいと思っことなどをかこう。

緊急事態宣言による休校中の家庭学習として作成

1週間分12枚のワークシートを全員で作成

ワークシート1枚を作成することは、本時案と板書計画を考えると

## 4 実践事例4 OKJによる初任者模擬授業

10分程度の模擬授業とその後の協議を通して、授業力の向上を図る。

全員でOKJへの理解を深める。

実施後は、初任者の学びについて、自分の学びについて、職層に関係なく振り返る。

初任者模擬授業（校内研修）実施後リサーチ

- 1 ねらい 初任者3名による模擬授業、協議会を通して、授業力向上を図る。
- 2 日時等
- 3 内容
  - (1) 模擬授業
    - ・授業者は略案及び教材・教具を作成
    - ・単元、模擬授業場面は授業者が決定
    - ・児童役の教員は、児童になりきって発言・質問する。
  - (2) 協議会
    - ・自評（模擬授業を振り返って）
    - ・協議 参加児童より発言
    - ・自評（協議会から学んだこと、今後にかきたいこと）
    - ・タイムキーパー：教務

2回の模擬授業を振り返り、気付いたことを記述してください。

振り返り1；初任者本人の学びについて

振り返り2；（自分も含め）参加した教員の学びについて

研修後記入し、提出してください。

氏名



## 4 実践事例5 OKJ合同研修(教えて考える研修)

### OKJ研修(教えて考える研修)

1 趣 旨 実践報告を基に「めあて」の内容や「理解確認」の方法、「理解深化課題」の内容等での工夫や課題、具体的改善策の共有を通して、OKJへの理解を深め、実践に生かせるようとする。

2 日 時 令和4年1月12日(水)14時00分~15時30分

3 会 場 世田谷区立奥沢小学校体育館

#### 4 方 法

- (1) 各学年・専科で「OKJ構想シート」による事例を持ち寄る。
- (2) 事例報告及びグループディスカッション(工夫や課題、改善策等)
- (3) 各グループからのディスカッション内容の報告
- (4) 研修のまとめ

#### 5 グループ

学年等	教科等	奥沢小学校(22名)	調布大塚小学校(19名)
1	国語		
2	算数		
3	理科		
4	社会		
5	理科		
6	算数		
専科	音楽・図画工作		

#### 6 時 程(全体進行:奥沢小研究主任)

14時00分	05分	校長あいさつ
14時05分	05分	研修の趣旨説明
14時10分	55分	グループディスカッション(1)自己紹介(2)事例報告
15時05分	15分	全体ディスカッション、各グループからの報告
15時20分	10分	研修のまとめ

教員が相互に「教えて」  
全員で「考える」研修

各校教員の実践事例を持ち寄り、日頃からの苦労や編み出してきた工夫を共有することでOKJへの理解を深め、授業改善を進める。

同じ学年担任でグループをつくり、お互いに実践した事例を「OKJ構想シート」で持ち寄り、グループと全体で共有する。